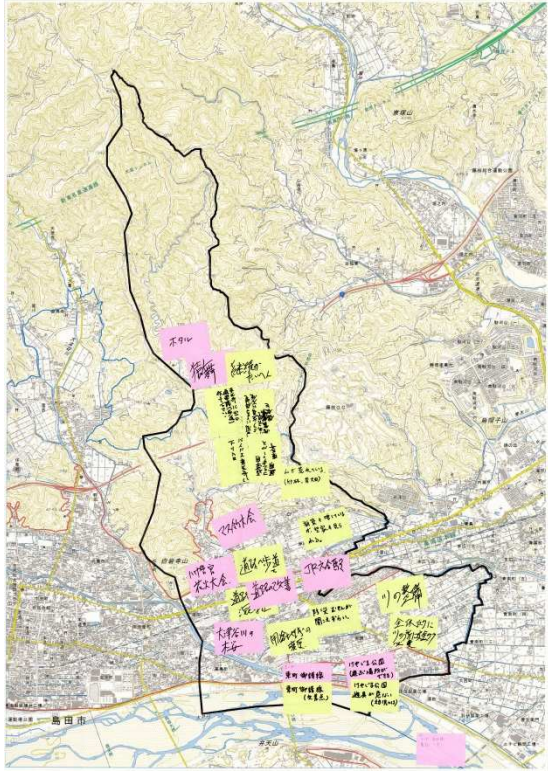


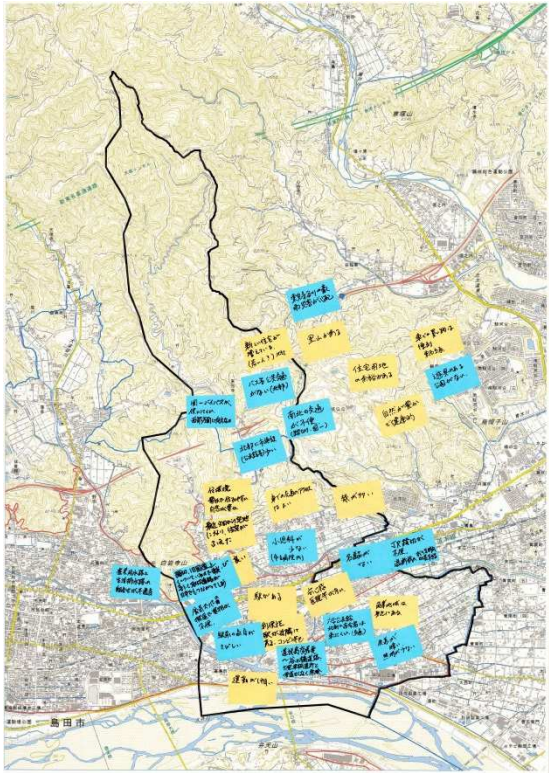
島田市都市計画マスタープラン 第1回地域別ワークショップ（六合地域） 議 事 要 旨

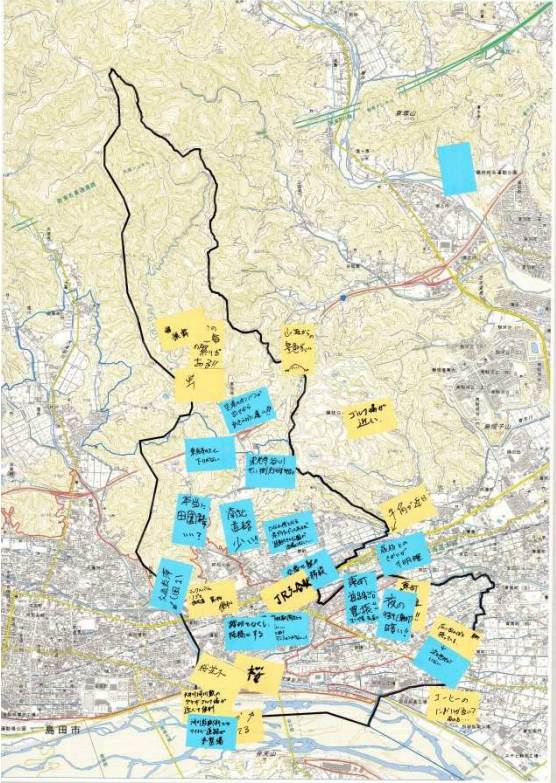
◆日 時：平成 31 年 2 月 5 日（火）19：00～21：00

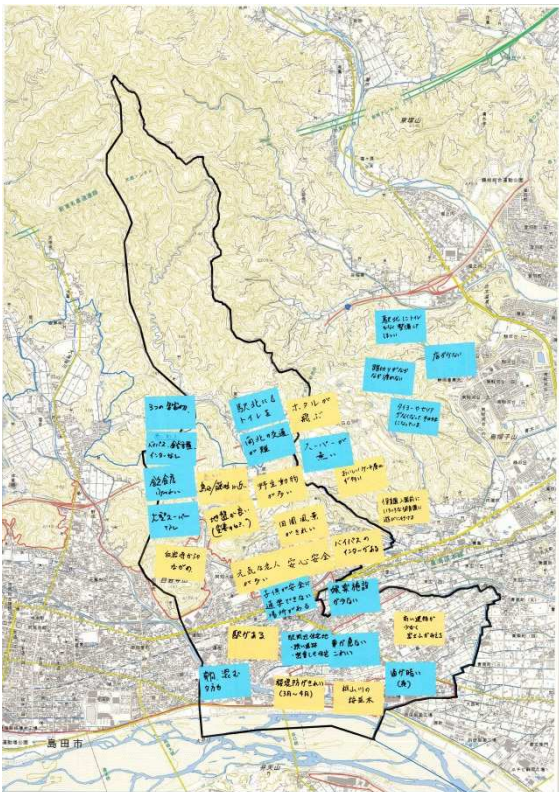
◆場 所：六合小学校地域連携室（多目的室）

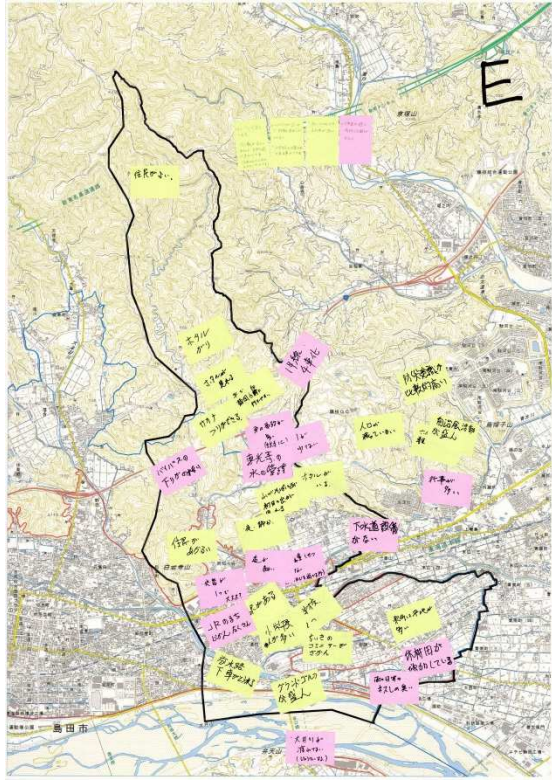
■第1回地域別ワークショップ（六合地域） 議事要旨

	A グループ
意見交換の結果	 良い点 課題点
地域の未来（グループ発表）	○道路網の整備や人口減少の対策、交通安全指導等を実施し、住民のための安心・安全なまちづくりが進められると良い。 ○コミュニティバスが通らない地区もあるため、コミュニティバスの運行の充実や、子どもやおとしよりが安全に通行できる道路、子ども達が安全に遊べる場所などを整備することで、暮らしやすく安全・安心なまちになると良い。 ○働く場所（産業）を増やすことで、雇用の場を増やしたり、にぎわいの創出に繋がると思う。 ○六合地域の資源を活かし、桜や花火などの四季折々のイベントを実施したら、住民にとっても誇りになり、来訪者を増やせると思う。 ○老若男女が安全に通いやすく、過ごしやすい地域になると良い。 ○JR 六合駅や公共施設を中心として、商業施設を誘致するとともに、豊かな自然環境を活かして子育て・医療を充実させ、住民が楽しく、少しでも安全・安心して暮らしていけるような地域を目指す。 ○人生 100 年時代と言われているため、高齢者でも働ける場所も必要になると思う。 ○住民が安全に住め、生活しやすいまちになると良いと思う。

	Bグループ	
地域の良いところ・課題点（意見交換）		良い点 課題点
地域の未来（グループ発表）	○現在の住みやすい環境を維持しつつ、車の安全性や買い物などのしやすさなど、高齢化社会にも対応できるように考えていく必要がある。 ○子どもや高齢者が安全に生活できるような道路環境の整備が必要だと思う。 ○島田の若者は働く場所がないから、市外に出てしまうと思うため、若い人達の就業場所を確保すれば、流出抑制に繋がると思う。 ○若い世代と高齢者世代が安心して住める地域になると良い。 ○現在は比較的住みやすい環境にはあるが、今後は防災対策として河川の整備、高齢者の交通の手助け、市外に出た若い人達が戻ってきたり、新しくこの地域に来たりできるような環境を整備することが必要だと思う。 ○公園の活用方法としては、運動的な機能の他、地域の交流や防災の視点でも活用できると良いと思う。 ○この地域はベッドタウンとしては住みやすいとは思いますが、今後は若い人達が住みやすい地域になると良いと思います。 ○この地域の特徴として、豊かな自然であったり、交通や買い物など日常生活が便利であったりと良い点がある。今後は若い人も高齢者もみんなが住みやすい地域になると良いと思う。	

	C グループ	
地域の良いところ・課題点 (意見交換)		良い点 課題点
地域の未来 (グループ発表)	○東光寺谷川沿いにたくさんの街頭があれば、夜道でも安全に歩けるため、必要だと思う。 ○豊かな自然を活かして、子どもが元気に外で遊ぶことができるまちになれば良いと思う。 ○六合駅周辺は駅を中心とした商業ゾーンに位置付け、田園の中には農業と共生した居住地になると良い。 ○祖父母に子どもを安心して任せられるよう近場に公園があったり、すぐに病院へ連れて行くことができるなど、3世帯で暮らしやすい地域になると良い。 ○都会にはない、自然と住宅地が共存した環境というのはポイントだと思うため、自然と住宅地をデザインした、ブランド化したまちになると良いと思う。 ○新しい人や若く、まちに変化をもたらす人たちの人口を増加することで、まちが発展し、良い方向に進むと思う。 ○犯罪や交通事故が少なく、更に平穏な六合地域になれば良いと思う。 ○JR の鉄道高架化による踏切廃止等の施策が進めば、交通渋滞も緩和し、南北のつながりが深まると思う。	

	Dグループ
地域の良いところ・課題点（意見交換）	 良い点 課題点
地域の未来（グループ発表）	○JRをはじめ東西の交通網は比較的整備されているが、南北の交通網が弱い。そのため、南北の交通網の整備を進め、地域間の交流を深められると良い。 ○岸・道悦・東町・阿知谷・東光寺間の交流を深めたいと思う。 ○スーパーや飲食店などの店舗を増やしたり、駅前を整備することで、にぎわいのあるまちになれば良いと思う。また、慢性的に渋滞している踏切については、整備を進めることで渋滞解消が進めば良いと思う。 ○地域の中心に自然豊かでスポーツ施設もある大きな公園を整備することで、みんなが楽しめる場所になると思う。 ○まちの核となる六合駅を中心とした市街地の整備を進めて欲しい。 ○東町から御請線周辺の開発が進めば、この地域も発展すると思う。

	E グループ
地域の良いところ・課題点（意見交換）	 良い点 課題点
地域の未来（グループ発表）	○豊かな自然環境である山林や畑、田園等はある程度現状のまま維持していければと思う。 ○六合駅周辺には駐車場を増やすことで、六合地区のベッドタウン化を進め、この地区に住む住民を増やせれば、まちのにぎわいにつながると思う。 ○まだ普及されていない下水道設備を整備し、住民が安心して生活できるようなまちになれば良いと思う。 ○農・林業と住宅地域が共生したまちづくりが進むと良い。また、インフラを整備し、住宅地化を推進させ人口増加に繋げられればと思う。 ○元々盛んであった自治会活動を中心に、住民主体の地域活動が活発になると良い。 ○これまで 10 年後の六合地域のことは考えたことがなかった。自分の子どもが将来六合地域に住んでいるかも正直わからない。 ○アパートや宅地を増やして新しい人達をたくさん迎え入れようとすれば人口は増えるが、自治会の問題もあるかと思うため、一概に良いとは言いきれないと思う。 ○人口を増やしつつも、六合の豊かな自然は残し、住み心地のよいまちであって欲しいと思う。 ○住民が安心して暮らすことができるまちにすることが大切だと思う。 ○島田の中でも六合が楽しいと思ってもらえるようになると良い。 ○東光寺川周辺など水害の発生する場所もあるため、将来的には水害の心配がないまちになると良い。 ○犯罪が無く、安心して住めるまちになると良い。また、公園や商業施設、公共施設などの生活のための施設があると暮らしやすくなると思う。 ○地震や水害などの災害に強く、いざという時の対応策が地域で実施できるまちが必要だと思う。 ○交通アクセス性を活かして、六合を中心に他の地域に行きやすくなると思う。

島田市都市計画マスタープラン

第2回地域別ワークショップ（六合地域）

議 事 要 旨

◆日 時：令和元年5月8日（水）19：00～21：00

◆場 所：六合公民館（ロクティ）

■第2回地域別ワークショップ（六合地域） 議事要旨

	第2回WSのまとめ
課題解決策の検討	【道路・交通環境の整備】 ・JRの踏切待ちの渋滞を解消するために道路高架化等を検討する ・南北交通網を再構築する ・自転車が安全に通れる道路の整備 ・東光寺IC下り入口の整備及び周辺道路の整備 ・東町御請線や（県）島田大井川線など、交通量が多い道路を改善する ・大井川河川敷まで徒歩や自転車で安全に行けるようにする
	【子どもが遊べる場所の整備】 ・小規模でも、幼児が遊べる遊具を備えた公園を整備する ・多世代が楽しめる広い公園があるといい ・駐車場がある公園を整備する ・土日に保育園や幼稚園の庭園を開放してほしい ・桜堤防を子どもが遊べるように整備する ・屋内子育て支援施設を整備してほしい
	【防災・防犯面の強化】 ・裏通りなどに街灯が少ない ・災害に強い蓄電設備のある街灯を増やしてほしい ・カーブミラーの設置数が少ない、あっても見えにくいので改善してほしい ・ポケットパークを防災公園として活用する ・小中学生を中心に防災マップを作成して、新しい視点からの防災課題を発見する
	【住みやすい環境の整備】 ・コミュニティバスを増やして、利便性を上げる ・スーパーを増やす ・町内会の役職を減らして、負担を小さくする ・住居表示を分かりやすくする ・東町御請線沿道に商業施設や病院を整備することで、歩いて暮らせるまちにする
	【観光資源の整備】 ・猿舞、ホテル、茶畑などを観光資源として利用する ・白岩寺にある幽霊の掛け軸を島田市全体の観光資源として利用する
地域の未来予想	【人の行き来がしやすいまち】 ☆国道と線路の渋滞の解消 ☆カーブミラーの整備 ☆自転車が通りやすい道の整備 ☆東光寺ICの整備
	【子どもの遊び場が多いまち】 ☆幼児が遊べる公園を増やす ☆大人の目が届く公園 ☆遊びやすい遊具の設置 ☆大小を問わず町内に公園を多く配置する ☆屋内で遊べる場所を増やす
	【子育てがしやすいまち】 ☆駅前に子育て支援施設を増やす
	【安心して暮らせるまち】 ☆蓄電設備のある街灯の整備 ☆小中学生を中心とした防災マップの作成
	【観光できるまち】 ☆幽霊の掛け軸の活用 ☆ハイキングやサイクリングで回れるまち ☆猿舞やホテルの活用 ☆広大な茶畑を観光資源として活用する

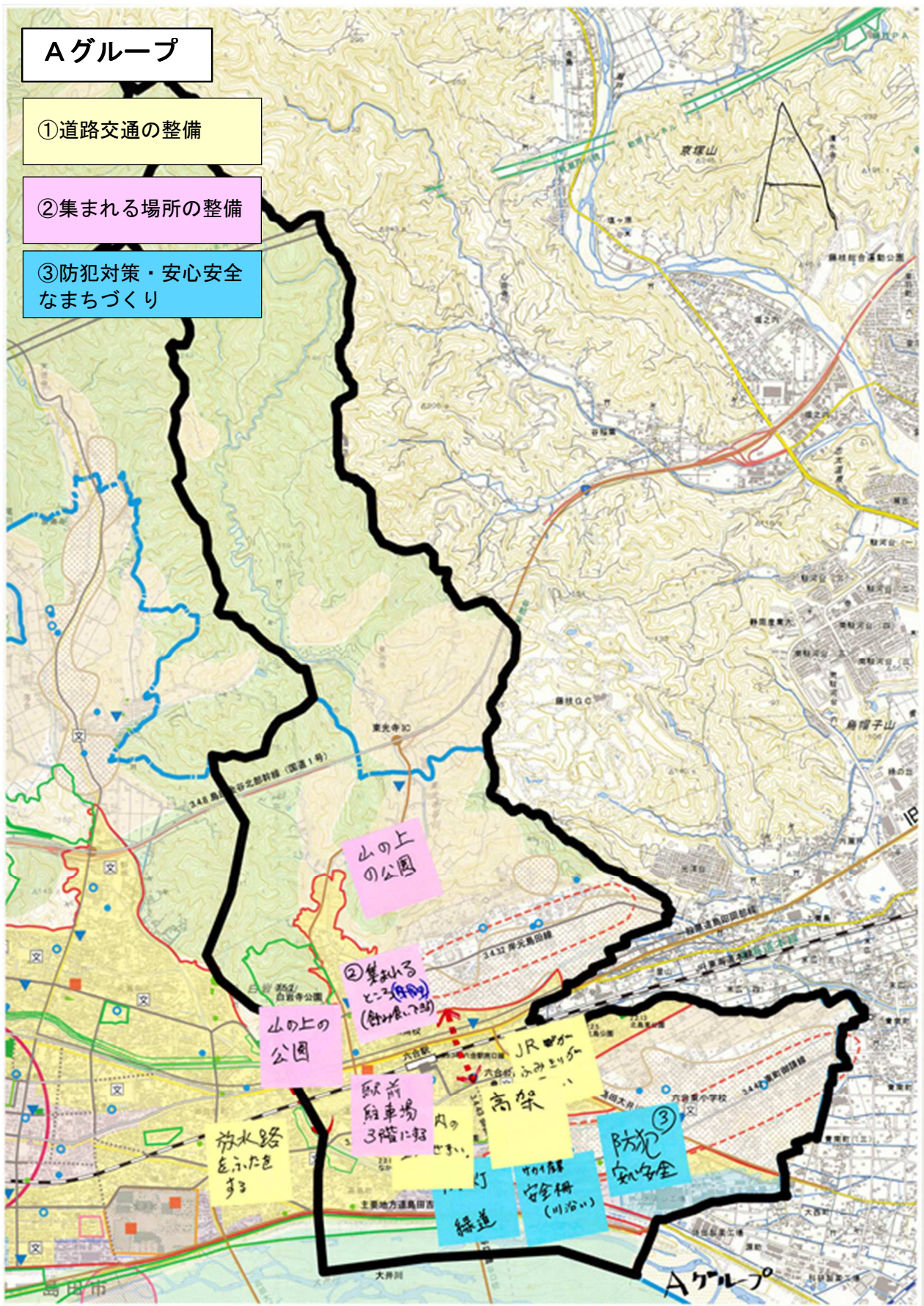
	Aグループ
課題解決策の検討 (意見交換の結果)	テーマ① 道路交通の整備
	・ J Rの踏切が長い ・ 六合内の道が狭い ・ 放水路にふたをする ・ 線路を高架にする
	テーマ② 集まれる場所の整備
	・ 山の上に公園を整備する ・ 駅前駐車場を三階建てにする
	テーマ③ 防犯対策・安心安全なまちづくり
	・ 街灯が少ない ・ サカイ産業周辺に安全柵がない
地域の未来予想 (グループ発表)	【道路交通の整備】
	・ 踏切の待ち時間が長いので、道路を高架にすることはできないか。もしくは、放水路にふたをして、その上に国道と J Rを跨ぐように道路を整備することはできないかと考えた。
	【公園の整備】
	・ 岸山や白岩寺山などの山の上に公園を整備してほしい。 ・ 白岩寺公園は既にあるが、子どもが歩いて行くには大変だと思うので、自動車で行くことができるよう道路を整備してほしい。
	【集まれる場所の整備】
	・ 駅前に飲食ができる場所や集まれる場所がないので、整備してほしい。
	【子どもが遊べる場所の整備】
	・ 駅前駐車場を三階建てにして、最上階を子どもが遊べる場所に整備したらいいと思う。
	【安心安全なまちづくり】
	・ サカイ産業の川沿いに安全柵がないので、整備してほしい。 ・ 街路灯が少ないので、増やしてほしい。

Aグループ

①道路交通の整備

②集まれる場所の整備

③防犯対策・安心安全なまちづくり



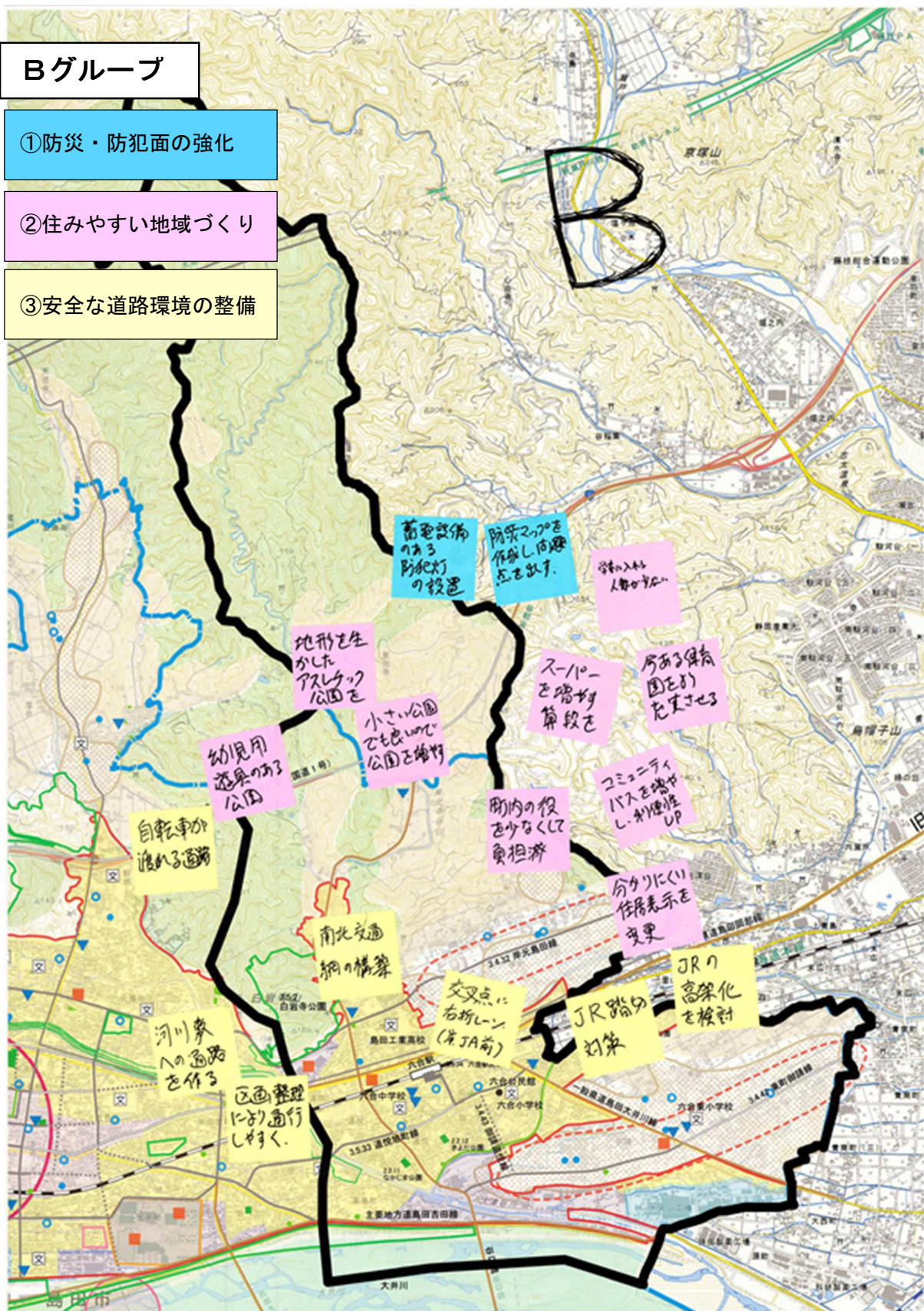
	Bグループ
課題解決策（意見交換の結果）	テーマ① 防災・防犯面の強化 ・蓄電整備のある防犯灯の設置 ・防災マップを作成し、問題点を探す
	テーマ② 住みやすい地域づくり ・学童に入れる人数が少ない ・今ある保育園をより充実させる ・コミュニティバスを増やして、利便性を上げる ・スーパーを増やす ・町内会の役職を減らして、負担を小さくする ・分かりにくい住居表示を変更する ・小さい公園でもいいので、公園を増やしてほしい ・幼児用の遊具がある公園の整備 ・地形を生かしたアスレチック公園の整備
	テーマ③ 安全な道路環境の整備 ・南北交通網の構築 ・自転車が行ける道路の整備 ・河川敷への通路を整備する ・土地区画整理を行って、通行しやすい環境にする ・J A前の交差点に右折車線を設ける ・J Rの踏切対策 ・J Rの高架化を検討してほしい
地域の未来予想（グループ発表）	【災害に強い防災灯の整備】 ・防災訓練などを改良するのは大変だと思うので、まずは災害に強い防犯灯を整備してほしい。例えば、太陽光などを利用した蓄電機能のある防犯灯を少しずつ増やしてほしい。
	【小中学生を交えた防災課題の整理】 ・防災マップを小学生や中学生を中心に作成することで、新しい視点から問題点を見つけて改善策を考えたほうが良いと思う。
	【安全な道路環境づくり】 ・自転車が走りやすい道路整備が必要だと思う。大井川の河川敷は、自動車だとすぐに行けるが、徒歩や自転車だと危ないので、対策を考えた方がよいと思う。
	【公園の整備】 ・どういう公園を作ってほしいのかを考えた結果、近隣の行きやすい場所にあたり、小さくても活動できたりする公園が充実していると良いと思った。また小さくてもいいので、遊びやすい遊具があればいいと思う。
	【新しい人達が住みやすい地域づくり】 ・分かりやすい住居表示に変えることで、新しく入ってくる人たちにも地域の位置関係が分かりやすくなると思う。

Bグループ

①防災・防犯面の強化

②住みやすい地域づくり

③安全な道路環境の整備



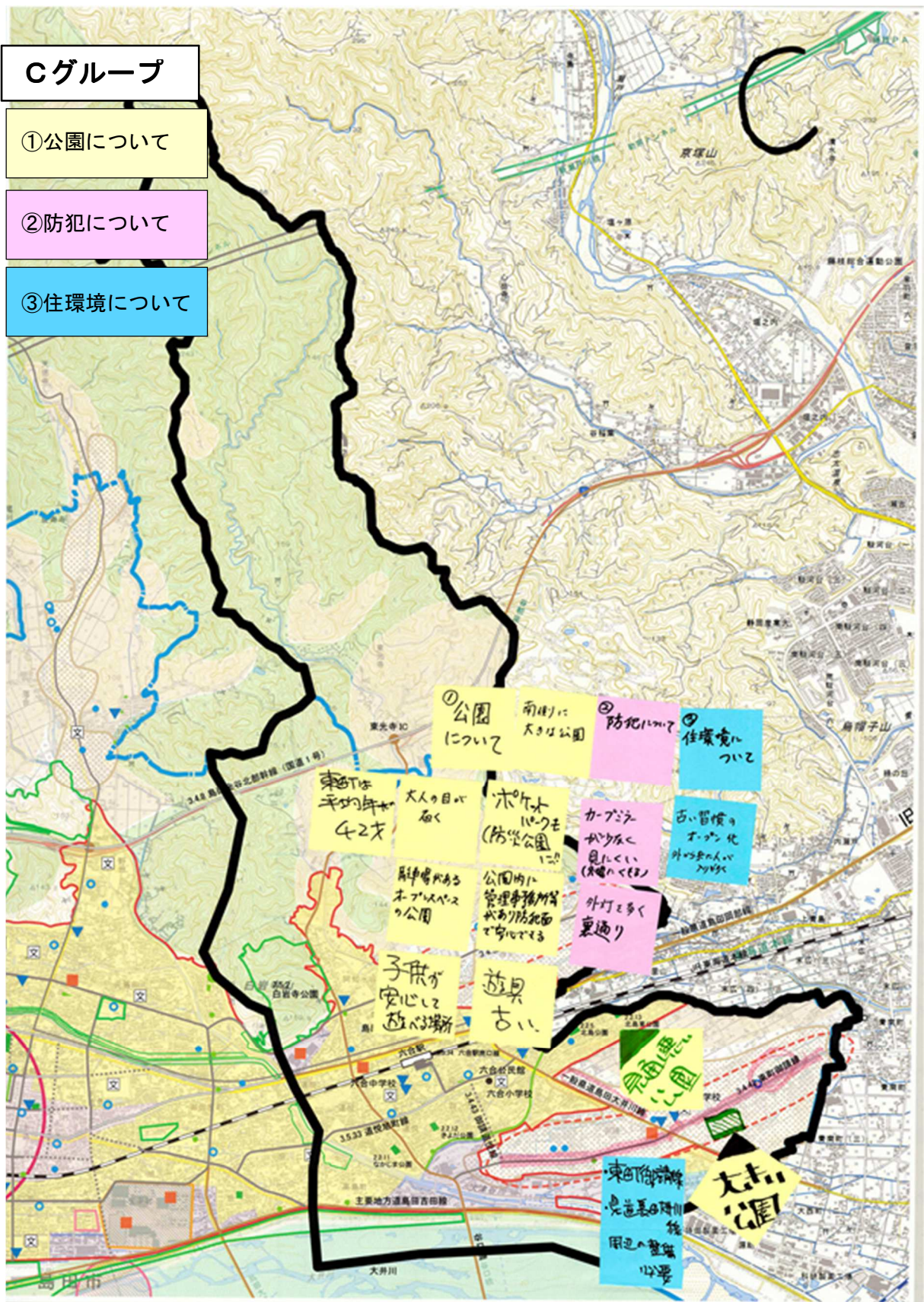
	Cグループ
課題解決策 (意見交換の結果)	テーマ① 公園について ・東町は平均年齢が42歳で子育て世代が多い ・南側に大きな公園 ・大人の目が届く範囲で遊ばせられると良い ・ポケットパークを防災公園にしてはどうか ・駐車場があるオープンスペースの公園の整備 ・公園内に管理事務所等があり防犯面で安心できる ・子供が安心して遊べる場所が欲しい ・遊具が古い
	テーマ② 防犯について ・カーブミラーが少なく、冬場は曇って見えにくい ・裏通りの街灯を多くして欲しい
	テーマ③ 住環境について ・古い習慣のオープン化 ・外から来た人が入りやすい雰囲気づくり ・東町御請線、(県) 島田大井川線周辺の整備が必要
地域の未来予想 (グループ発表)	【子どもが遊べる公園の整備】 ・東町は若い世代が増えてきているので、子どもが遊べる公園が欲しい。町内に公園が無い訳ではないが、北島公園や北島東公園は人目につかない奥まった位置にあるため、防犯的な面でのリスクが高いことから、利用者がほとんどいないと思う。若い世代が増えてきていることもあるので、子どもを安心して遊べて、おじいちゃんおばあちゃんが孫を歩いて連れていける範囲に広い公園が増えたらいいと思う。 ・大規模で利用者が多い公園は、管理棟がある場合が多く、棟の中には自販機があったり、ご飯が食べられる机があったりする。また、子どもだけで遊ばせても管理棟があるため、防犯面が優れている。そういう公園がこの地域にできたらいいと思う。
	【交通事故のない道路づくり】 ・東町御請線とその裏通り、県道島田大井川線などは、極端に車の交通量が多い。 ・カーブミラーがあっても、冬場に曇って見えにくい問題があり、現状ある設備をうまく使えていないので、改善が必要だと思う。
	【裏通りの街灯の整備】 ・裏通りにある住宅地は街灯が少ない場所もあるため、部活で遅くなった子ども達が帰宅する際に、暗くて危ないと思うため、街灯を多くしたい。
	【古い習慣の改善】 ・新しく入ってきた人と、古くから暮らしている人では習慣が違う問題がある。時間をとって集まる習慣がない人もいる。古い習慣を変えていく必要が思う。 ・新しく入ってきた人と古くから暮らしている人では、地域に対する考え方が違う。特に若い世代は隣近所や町内で時間を取って集まるという習慣があまりないと思うため、同じ地域で暮らしていくために、古い習慣の見直しや改善していくことも必要だと思う。
	【道路沿道の利便性の向上】 ・東町御請線を拡幅しているが、その沿道に商業施設や病院が整備されれば、歩いて行ける範囲で衣食住が完結できるため、車がなければ生活できない環境が改善できるのではないかと。東町御請線道沿道には、そうした施設が作れるスペースがあるように感じている。

Cグループ

①公園について

②防犯について

③住環境について



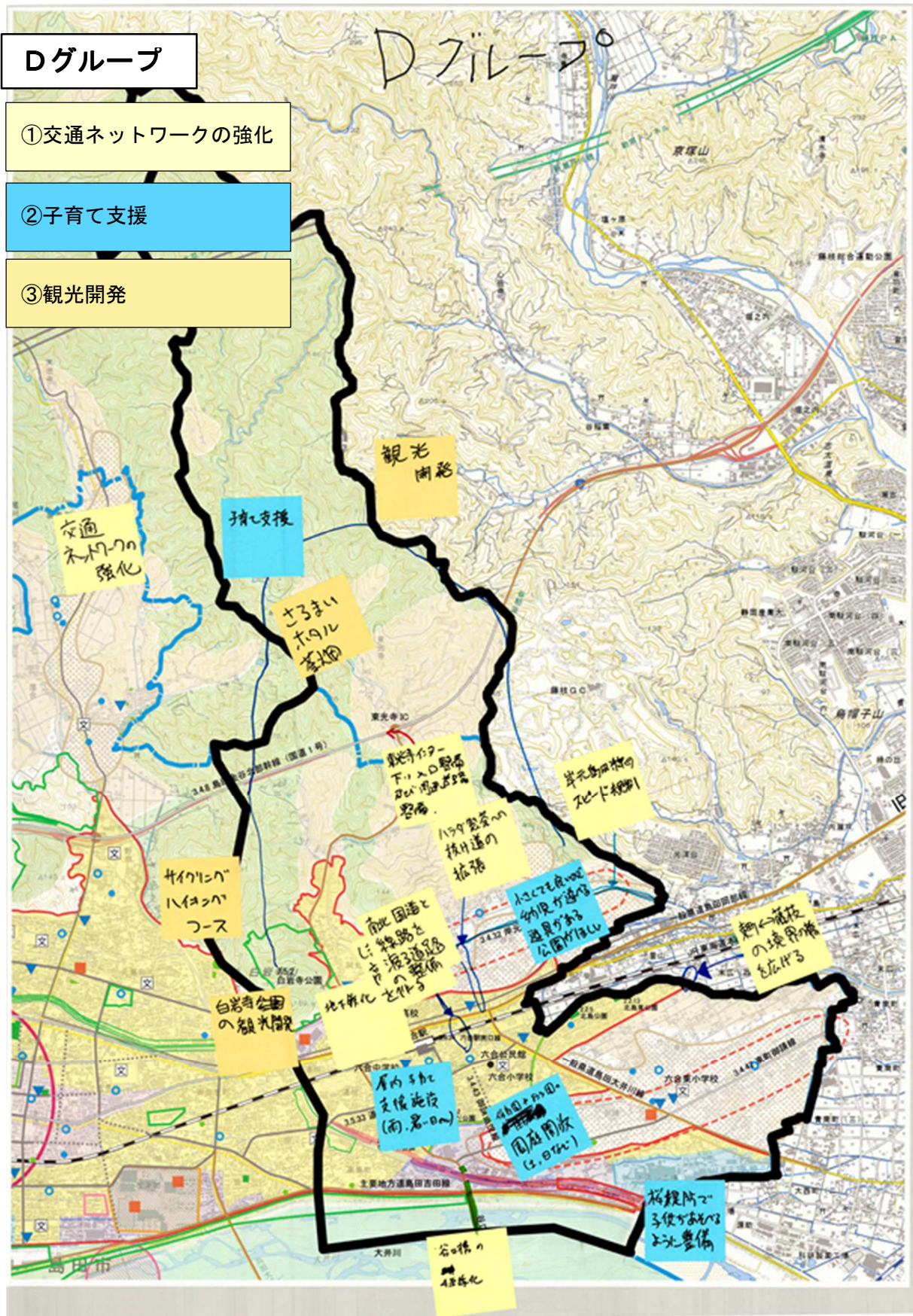
	Dグループ
課題解決策 (意見交換の結果)	テーマ① 交通ネットワークの強化 ・東光寺IC下り入口の整備及び周辺道路の整備 ・ハラダ製茶への抜け道の拡張 ・岸本島田線のスピード規制 ・東町と藤枝市との境界にある橋の拡張 ・国道と線路を跨ぐ南北道路の整備 ・JRの地下化 ・谷口橋の四車線化
	テーマ② 子育て支援 ・屋内子育て支援施設の整備 ・土日の保育園や幼稚園の庭園開放 ・桜堤防を子どもが遊べるように整備する ・小さくてもいいので幼児が遊べる遊具がある公園がほしい
	テーマ③ 観光開発 ・猿舞、ホテル、茶畑を観光資源として利用する ・サイクリングコース、ハイキングコースの整備 ・白岩寺の観光開発
地域の未来予想 (グループ発表)	【人の行き来がしやすいまちを作る】 ・この地域は人口が減っておらず増えていることから、人の行き来のしやすさを考えていく必要がある、そのためには道路整備を進めていくことが大切だと思う。地域内の交通が便利になり、どこへでも行き来しやすくなれば、より住みやすいまちになると思うし、商業施設もこの地域に必要なのではないかと考えた。
	【道路環境の改善】 ・国道とJRの渋滞を解消してほしい。 ・ハラダ製茶へ抜ける道は、通学路として利用されている一方、抜け道でもあるため交通量も多く、すごく危ないと思う。 ・岸本島田線はスピードを出して走る車が多いため、安心・安全なまちを考えたときには、スピード規制が必要なのではないか。 ・東光寺ICからは上り方面へ行けても下り方面に行けない。住んでいる人からは、下り方面へ行きたいという意見が多い。
	【子どもが遊べる公園の整備】 ・子育て世代の視点から考えたとき、小さい公園が少ないことに気が付いた。広場はあっても遊べる遊具がなかったりするため、人口や住みやすいを考えると、小さい子ども達が遊べる公園が点在しているのがいいのではないかと思った。
	【駅前の子育て支援設備の充実】 ・駅前には、発展を求めるより、子育て支援の施設を増やして欲しい。特に、屋内施設で子どもが走り回れる施設が六合駅を中心にあると良い。
	【子どもが遊べる空間の整備】 ・保育園や幼稚園の園庭を、土日に開放してもらえれば、そこで遊べると思う。 ・桜堤防を子どもが遊べたり歩けたりするように整備すれば、最高のロケーションで散歩ができて、すごくいいのではないかと思う。
	【すでにある資源を観光資源として活用】 ・幽霊の絵があるところは全国的にも少なく、島田市の観光資源として活用できないか。 ・白岩寺周辺に駐車場を整備して、車で近くまで行けるようにする。 ・公園にはハイキングコースがあるので、サイクリングコースも整備できるといいと思う。 ・広大な茶畑は地域住民にしてみると当たり前風景だが、他の地域に住んでいる人からは珍しいと感じるため、岸山を整備して、茶畑を見せてはどうか。

D グループ

①交通ネットワークの強化

②子育て支援

③観光開発



島田市都市計画マスタープラン

第3回地域別ワークショップ（六合地域）

議 事 要 旨

◆日 時：令和元年6月18日（火）19：00～21：00

◆場 所：六合公民館（ロクティ）

■第3回地域別ワークショップ（六合地域） 議事要旨

第3回WSのまとめ			
まちづくりの方針の検討（主な意見）	多世代が安心して暮らせる繋がり の強いまち	個人	空き家や放棄農地を提供し様々な用途に活用／ 地域の行事に参加する
		地域	猿舞など地域の文化を継承する取組みの実施／ 親子で参加できる行事を増やす
		民間	既存施設の空きスペースの提供／ 地域・企業合同の防災訓練の実施
		行政	ブロック塀撤去補助制度の充実／広報の活用
	快適な交通環境が 充実したまち	個人	バスなどの公共交通を利用する／電動自転車の活用と購入／ 利用者をグループ化して相乗り率を上げる
		地域	交通の中心になる場所をつくる
		民間	スーパーの配達サービスの実施／ 商業施設などがバスへ協賛を出し、利用者を増やす
		行政	レンタサイクルの導入／ 免許返納者へのサービスの実施
	安心して歩ける みちづくり	個人	自動ブレーキなどのある最先端の車両に乗る／ なるべく自転車を利用する
		地域	見守り体制の強化／時間帯で車両を規制する
		民間	フレックスタイム制を導入し企業の出勤時間をずらす／ 通学バスの提供
		行政	交通環境の整備（中河東光寺線、東光寺 IC、等）／ 歩道の整備（安全柵や常夜灯の整備、等）／ 自転車専用道路の整備/常夜灯の増設
まちづくりの目標	【Aグループ】 『安心安全 世界が交差する夢と魅力ある町六合』（7票）		
	【Bグループ】 『安心、安全、快適で自然豊かなまち』（6票）		
	【Cグループ】 『互いに顔の見えるまち（防犯・防災）』（2票）		
	【Dグループ】 『発展より安心・安全 のんびりゆっくりくらすまち』（9票）		

※票数は参加者による投票結果

Aグループ				
方針	【個人（自分）】	【地域（コミュニティ）】	【民間（企業等）】	【行政（島田市）】
安心して歩ける まちづくり	- 最先端の車輛に乗る - 事故を減らす - なるべく自転車を利用する	- 見守り強化 - 時間帯で車 NG	- フレックス時差出勤 - 通学バスを提供してもらう	- 中河東光寺線の早期実現 - 歩道安全柵（川沿い） - 東光寺 IC 早期実現
まちづくりの目標				
【グループ】 - 安心安全 世界が交差する夢と魅力ある町六合 【個人】 - 思いやりのまち六合 - 住民のための安心、安全なまちづくり - 安心安全、世界が交差する夢ある町、魅力ある町				
グループの意見				
道路の渋滞を解消し、安心して歩けるようにする必要がある。個人では、健康増進のために自転車を利用することや、最先端の車に乗れば事故が減ると思うので、安心安全につながる。事故も減ることで民間の企業も潤うので、通学バスを買ってもらいたいと思う。地域では、子供たちが安心して通学できるよう、見守りを強化する。企業には、時差出勤を促し、渋滞対策をしてもらう。行政には、東光寺 IC・中河東光寺線の早期実現、歩道（川沿い）の安全柵を作ってもらう。				

B グループ				
方針	【個人（自分）】	【地域（コミュニティ）】	【民間（企業等）】	【行政（島田市）】
多世代が安心して暮らせる繋がり強いまち	・空き家、放棄農地の提供し、様々な施設として使ってもらう	・猿舞の後継者を小学校、保育園などで募集する ・文化の継承	・施設、既存施設の2Fなどを利用させてもらう	・施設として使えるような場所の抽出 ・施設として使わせてくれる際にはロイヤリティを払う
快適な交通環境が充実したまち	・バスを利用する	・陳情する	・通勤時間と通学時間をずらしてもらう	・踏切による渋滞解消のためJR、国土交通省等へ働きかける
安心して歩けるまちづくり				・都市計画に通学路の拡大を入れる ・常夜灯を増やす ・歩行者、自転車専用道路の整備
まちづくりの目標				
【グループ】 ・安心、安全、快適で自然豊かなまち 【個人】 ・時の流れが穏やかなまち ・安心、安全、快適で自然豊かなまち ・渋滞なく移動できる交通網を整備した町				
グループの意見				
・空き地や耕作放棄地、工場や会社の空いている場所を活用する。 ・市民がバスを利用することが大事なので、使ってみて良い所・悪い所、改善点などを探し、市に訴える。 ・フレックスで通勤時間と通学時間をずらして、子供たちの安全を確保してほしい。 ・子供の通学路を最優先に安全を確保してほしい。狭い道路が通学路に指定されていることが多いので、安全に配慮された通学路を都市計画に入れて欲しい。また、交通事故を減らすために歩行者・自転車の専用道路を整備してほしい。				

C グループ				
方針	【個人（自分）】	【地域（コミュニティ）】	【民間（企業等）】	【行政（島田市）】
多世代が安心して暮らせる繋がり強いまち	・地域の行事に参加する ・防災訓練への参加 ・五郎祭への参加	・親子で参加できる行事を増やす ・お祭りの案内拡大	・お祭り等の駐車場の提供 ・地域、企業合同の防災訓練	・広報に大きく乗せる、HP ・各祭典の広報 ・お祭り時の臨時バスを出す ・ブロック塀撤去補助制度の充実
快適な交通環境が充実したまち	・コミュニティバスに乗る ・通学路の見守り ・電動自転車の購入と活用	・見守り隊を増やす	・危ない場所の案内	・レンタルサイクルの活用 ・免許証返納者へ電動自転車購入の補助金を出す ・免許証返納者へのサービス
まちづくりの目標				
【グループ】 ・互いに顔の見えるまち（防犯・防災） 【個人】 ・ひらかれたまちづくり。地域特有のお祭り→ひろめる→継承、六合・六東どちらにもいきやすく、赤ちゃんからお年寄りまでがすみやすいまち ・互いに顔の見えるまち（防犯・防災） ・南北地域が交流しやすいまち、東海道線が邪魔にならない地域				
グループの意見				
・コミュニティバスに乗ったことがない人が多いので、利用を促進する。免許証を返納した方へのサービス、電車やバスなどの回数券や、電動自転車の割引等もあると良い。防災訓練や祭りに参加することも大切である。祭りの際は民間企業からの駐車場提供してもらい、行政からは臨時のコミュニティバスを出してほしい。				

Dグループ				
方針	【個人（自分）】	【地域（コミュニティ）】	【民間（企業等）】	【行政（島田市）】
快適な交通環境が 充実したまち	・端末（アプリ）の使用？ ・利用者のグループ化 ・病院、スーパー、飲み屋	・中心になる所を作る	・スーパーの配達 ・病院（個人）スーパー、来てもらうために協賛を出す	・市民病院予約システム、診療時間と乗合タクシーの調製 ・放水路の下に水を流す、JR ・アンダーパス、南北をスムーズに
まちづくりの目標				
【グループ】 ・発展より安心・安全 のんびりゆっくりくらすまち 【個人】 ・くらすやすいまちをつくる、六合の核をつくる ・発展より安心・安全、のんびりゆっくりくらすまち ・岸山の公園、大井川の公園を整備する、白光寺に車で登る、阿知ヶ谷を広くてスポーツ広場（ナイターもできる）、六合の花火を上げるのを同じ日にあげる。白光寺と岸山でおくりびをやる（8月16日）				
グループの意見				
・人口減少が進んでも住みやすい、居心地がよくのんびりゆっくり過ごせるようであれば、次の住処に選んでもらえて、転出もあまりなくなり、人口減少にも歯止めがかかると思う。 ・六合地域では事故が多いので、なるべく車に乗らないで済むように、利便性のある交通手段ができればいいと思う。バスを充実させるため、地域に集まれる場所をいくつか作り、そこから乗合で行くようにする。また、市民病院と協力し、診療時間と乗合タクシーの調整を行うようにする。個人病院やスーパー、来てもらう方がお金を出して誘導するような協賛をしてもらう。 ・用水路などを活用し白岩寺や東光寺、駅など歩行者のネットワークを作ってはどうか。				

島田市都市計画マスタープラン

第4回地域別ワークショップ（六合地域）

議 事 要 旨

◆日 時：令和元年 8 月 22 日（木）19：00～21：00

◆場 所：六合公民館（ロクティ）

■第4回地域別ワークショップ（六合地域） 議事要旨

第4回WSのまとめ（主な意見）	
“ご意見”カード	【地域別構想に関して】 ・（2）④岸山の竹林、茶畑保全 ・（2）⑤空き地・空き家の対策を具体的に記述し、実行してほしい。 ・（3）河原大井川港線・島田大井川線の整備
	【交通環境】 ・南北道路の改良をしてほしい。 ・道路幅が狭いため、車がすれ違えるようにしてほしい。 ・踏切による渋滞解消の検討。
	【水害対策】 ・ゲリラ豪雨等の大雨に備えた河川の整備 ・水害対策として、東光寺上に湖を作る
	【公園整備】 ・白岩寺公園を中心とした大規模公園の整備。 ・白岩寺公園を活用する。 ・岸山の上や白岩寺に車で行ける公園を整備してほしい。 ・防災公園化を推進してほしい
	【下水道整備】 ・下水道整備についての項目がない。 ・生活排水専用の水路整備を検討してほしい。
	【施設整備】 ・駐車場の確保。 ・飲食できる施設を整備してほしい。
	【その他】 ・暮らしには働く場が必要なので、工業用地の確保を検討するべきだと思う。
“できること”カード	・地域の行事に参加する ・生活支援サービスの推進 ・地域のラジオ体操を続け、みんなで健康を維持する ・車を使う生活から、自転車やバスを使うように意識する ・災害に強いまちづくりを目指し、自主防災活動を行う ・地域の文化など、継承できるものは子どもと一緒に学ぶ ・行政に頼り過ぎず、住民ができることは住民の手で実施する ・都市計画等の説明会に積極的に参加する ・道路脇の草取りを行う

※『“ご意見”カード』には地域別構想に対する意見、『“できること”カード』には参加者が今後のまちづくりで取り組んでいきたいことを記入していただきました。

	Aグループ
“意見”カード	・(3) 交通→河原大井川港線の整備、島田大井川線の整備 ・(2) 土地利用 ④：岸山の竹林、茶畑保全 ⑤：空き地・空き家の対策を具体的にして、実行に移す ・ゲリラ豪雨等の大雨に備えて河川の整備
“できること”カード	・地域の行事に参加する ・交通安全 ・町内会行事の参加 ・地域コミュニティ事業に可能な限り参加
グループ発表	・河原大井川線はガードレールなどがなく、数年前にトラックが落ちている。7丁目に行く道も路上駐車や歩行者がいて怖いので、そうした道路の整備をしてほしい。 ・岸山の竹林、茶畑の保全や、空き地・空き家の具体的対策とあるが、漠然と書いてありますがもっと具体的にしてほしい。 ・ゲリラ豪雨等の大雨に備えた河川の整備は重要だと思う。昔国道1号は氾濫したことがあるので対策をしてほしい。 ・自分ができることとして、地域コミュニティ事業に可能な限り参加と非常に当たり障りのないことを書いた。防災と防犯と環境に絞ったような事業をしてほしい。 ・町内会行事の参加ということで、少子高齢化で高齢者が多く、行事も少なくなっているが、なるべく参加したい。 ・地域の行事に参加することで、地域のことをより知るきっかけになればいいと思う。車に乗らないで生活するのは難しいが、せめて車に乗る時は気を付けてとにかく事故を起こさないように安全運転を心がけたい。

	Bグループ
“意見”カード	—
“できること”カード	・誰もが安心して暮らすための生活支援サービス（ボランティア）の推進 ・地域のラジオ体操を続け、皆で健康を維持する ・コミュニティ活動（防災訓練・祭等）への参加を住民に呼びかける ・近くへの参加は自転車中心 ・通学路の安全確保について行政に強く要望し続ける ・地域の活動・行事に積極的に参加する ・子どもと散歩する ・なるべく自転車に乗る ・いつか免許返納するので、今からバス等利用する ・子ども達の安全のため、見守り隊を各地区で編成する（今でも高齢の方々がやってくれているが、人数を増やさないと負担が大きくなって困る）
グループ発表	・地域の活動に参加する。 ・車で移動することが多いが、地域を知る意味も含めて子どもと散歩していろいろなところを知っていききたいと思う。 ・高齢になり免許を返納した時のことを考えて、今は近いところでもすぐ車で行ってしまうが、少しずつバスを利用したい。 ・有志の方が毎日交通安全に立ってくれている。子どもたちの見守り隊を結成し、交通安全部がある。 ・少子高齢化になってきているが、誰でも安心して暮らせるように生活支援サービスを推進していきたい。 ・近所のメンバー20人くらいで8年間ほどラジオ体操を続けているが、そうした活動を通じて皆で健康を維持していきたい。 ・今はほとんど車移動だが、自転車に乗ったり歩いたりして地域のことをよく知って、自分自身も積極的に行事に参加し、子どもや近所の人も誘う。 ・地域のイベントに参加者が思うように集まらないので、参加を呼びかけたい。ひいては災害時の助け合いにも結び付くのではないかなと思う。 ・近くへ移動する際は車を使わず、自転車や徒歩で移動する。 ・子どもの通学路にむだに植栽が多く、道がより狭くなっている。今後も安全確保の要望をし続ける。 ・いろいろな要望に応えようとするとお金がかかるので、優先順位をつけてもらい、できるだけ要望が出たものについては力を入れて欲しい。

	Cグループ
意見カード	・白岩寺公園を中心とした大規模公園の整備 ・駐車場の確保 ・飲食できる施設 ・暮らしには働く場が必要なので、工場用地の確保も検討すべきではないか ・下水道整備等のが、全くうたわれていない ・生活排水専用の水路整備を検討してほしい ・踏切による渋滞解消の検討 ・防災公園化の推進
できることカード	・災害に強いまちづくりを目指し、自主防災活動を行う ・六合地域の活性化に進んで協力します ・地域の活動に参加し、自分たちでできる事はやる ・島田工業高校生と一緒に 20 年後の六合駅・公民館等拠点施設及び周辺のジオラマ作成 ・地域の行事には積極的に参加し、継承できるものは子どもと一緒に学ぶ ・行政に頼らず、住民ができることは住民の手で実施する ・正しい情報を取得します
グループ発表	・働く場所の確保、企業を誘致する工業用地も必要なので、そちらも検討してほしい。 ・様々な規模の公園があるが、特に白岩寺を中心とした大規模公園の整備をしてほしい。他の公園を見ても、アクセスという点で駐車場の整備が必須だと思う。良い公園でも駐車場がないと行く手段がないし、近くに車を止められないのでは活用しにくいと思う。 ・下水道の整備はここ数年でできる話ではないと思うが、下水道設備が長期的に可能かどうか検討してほしい。下水道設備は、浄化槽を作っても排水する場所を確保するのが難しいという話が出たが、生活排水専用の水路整備を検討してほしい。 ・中小公園を災害時の炊き出しなどに活用できる防災公園としても利用できたらと思うので、それらを推進してほしい。 ・災害に強いまちづくりを目指し、自主防災活動を推進していきたい。 ・将来の構想の中で、「検討します」という言葉が多く出ているので、「推進します」という言葉に変えてほしい。 ・島田工業高校の生徒たちと、駅や公民館のジオラマを一緒に作っていきたい。 ・「検討します」という内容も、できれば前向きに検討してほしい。例えば踏切も、道路が狭くなってしまうからできない、ではなくて、こうすればできるからこういうところで協力してほしい、というふうに前向きに進めて欲しい。 ・行政に頼らず自分でできることは自分でする。 ・正しい情報を取得する。 ・行事に積極的に参加し、継承できるものは子どもにもわかりやすく教えて継承していきたい。

	Dグループ
“意見”カード	・南北道の改良をする ・白岩寺公園の活用 ・水害、東光寺上に湖を作る ・岸山や白岩寺公園に車で行ける公園を作る ・現況の道路幅が狭いため、車がすれ違えるようにしてほしい
“できること”カード	・都市構造の計画等の説明会等あれば積極的に参加する ・（区画整理などで）どいて！と言われたらどく！ ・道路脇の草取り
グループ発表	・岸と白岩寺に車で行ける公園を作ってほしい。 ・南北道の改良と書いたが、現況は踏切がありこれを改良してもらおう。図面にある計画路線をちゃんと整備してもらいたい。 ・岸町で土地改良した場所は、東西線が安全に通れる広さがあるが、南北線の幅が非常に狭く 3m くらいしかないので車同士がすれ違い出来ないので、拡張してほしい。 ・『できることカード』に道路わきの草取りと書いた。歩道などに草が生えていて、市の方で年に 3 回ほどしか草取りをしてくれないので、住民参加のような形で草取りして、まちをきれいにしていくことも必要だと思う。ただ住民にいろいろなことをやれというのは押し付けのようになってしまうので、市の方でも整理してもらいたいと思う。 ・都市構造の計画等の説明会等があれば積極的に参加し、意見を出したい。 ・子どもたちの通学路を安全のために拡張したいので、家をどけてほしいと言われたら、すぐどく。これが自分にできることだと思う。